

1. 本県周辺海域の概況(図1, 2/7現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行したC型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼にやや接岸した状態で、本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経146° 00′ 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年より大きめで推移しています。また、常磐北部海域では平年よりも1~2℃低い海域が広がっています(気象庁1/31発表)。
- ・三陸沖合の北緯39° 00′ 東経143° 30′ 付近に暖水塊が形成されています(気象庁1/31発表)。

2. 海洋観測結果(2/3~7:調査船「いばらき丸」)

- ・時化の影響により、大洗定線の沖合2点(東経141° 45′ ~142° 00′ )が欠測となりました。
- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2~9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10~13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14~17に示しました。海面水温は、会瀬沖で10.3~14.2℃, 大洗沖で12.1~14.8℃, 鹿島沖で11.8~19.0℃, 犬吠埼沖で14.9~19.5℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、黒潮流路となった南部沖合を除き、ほぼ全域で降温しました。鹿島沖合の一部(東経141° 00′ ~141° 30′ )海域では、大きく降温(-4~-2℃)しました(図6~7, 図14~15)。
- ・平年と比べると、沿岸では表層・下層とも「平年並~やや高め」、沖合では広い範囲で「平年並」となり、鹿島の一部海域で表層・下層とも「低め基調(-2~-1℃)」となりました(図8~9, 図16~17)。
- ・潮流の特徴として、犬吠埼・鹿島沖合では黒潮の北東への強い流れ(2.0~3.8ノット)が観測されました。大洗~鹿島定線の沿岸では真潮(北向きの潮流)が強い傾向(0.6~1.5ノット)にあり、会瀬沖では沿岸から沖合にかけて出潮(東向き潮流)がやや強い傾向(0.4~0.7ノット)にありました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行したC型で推移するでしょう。また、黒潮流路は本県沖を北東に流去する状態がしばらく続くでしょう。
- ・親潮の面積は平年並~大きめで推移するとみられますが、親潮第一分枝の先端は北緯40° 30′ 東経143° 00′ に位置するとみられます。よって、親潮系冷水は本県沖に直接影響しないでしょう。
- ・水温を平年と比べると、沿岸・沖合とも広い範囲で「平年並」で推移するでしょう。

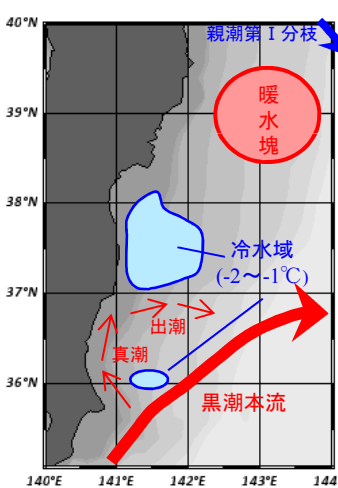


図1 海況の概要 (2月7日現在)

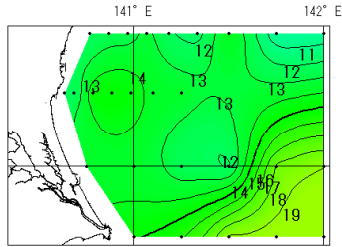


図2 海面水温(℃)

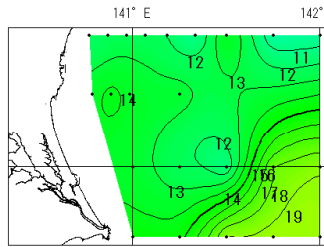


図3 50m深水温(℃)

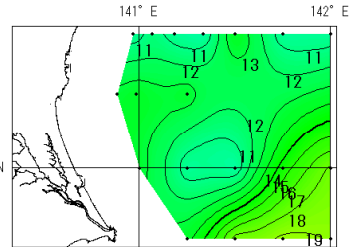


図4 100m深水温(℃)

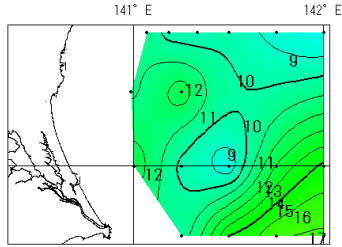


図5 200m深水温(℃)

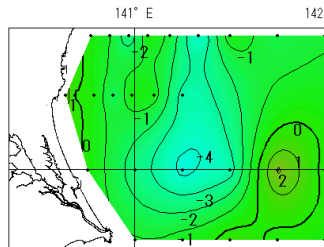


図6 海面水温前月差(℃)

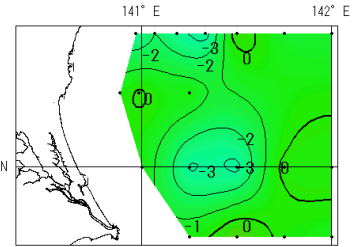


図7 100m深水温前月差(℃)

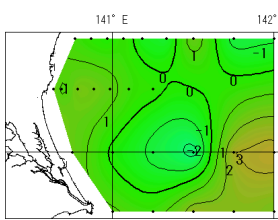


図8 海面水温偏差(℃)

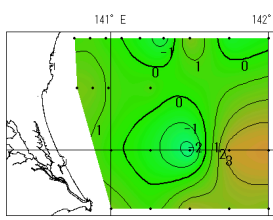


図9 100m深水温偏差(℃)

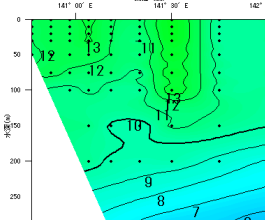


図10 会瀬沖鉛直水温(℃)

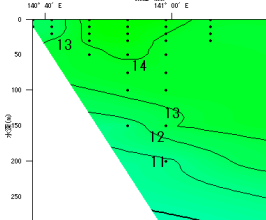


図11 大洗沖鉛直水温(℃)

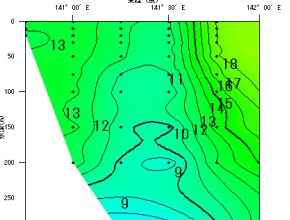


図12 鹿島沖鉛直水温(℃)

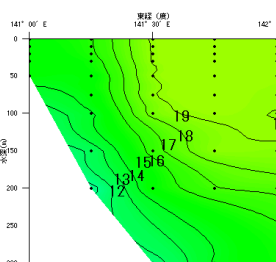


図13 犬吠埼沖鉛直水温(℃)

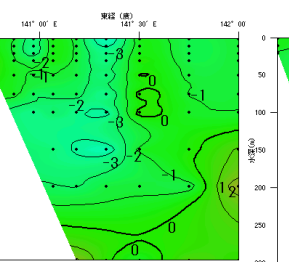


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(℃)

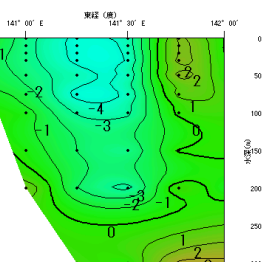


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(℃)

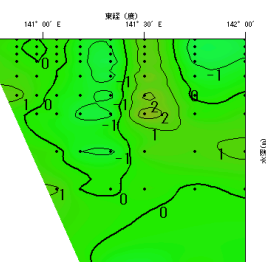


図16 会瀬沖鉛直水温偏差(℃)

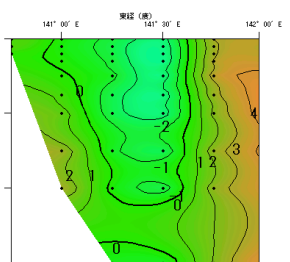


図17 鹿島沖鉛直水温偏差(℃)